韓国でランピースキン病が続発しています!!

ランピースキン病は、泌乳量の低下など生産性に大きな影響を及ぼす疾病です。
韓国では本病が続発し、本年10月以降、約90件の発生が確認されています。
国内では令和6年12月以降、発生は確認されておりませんが、依然として**国内への侵入リスクが非常に高い状態となっております。**
改めて、発生予防対策の徹底と、異状を認めた際の早期発見・通報をお願いします。

韓国におけるランピースキン病の発生状況　（2026年10月13日時点）

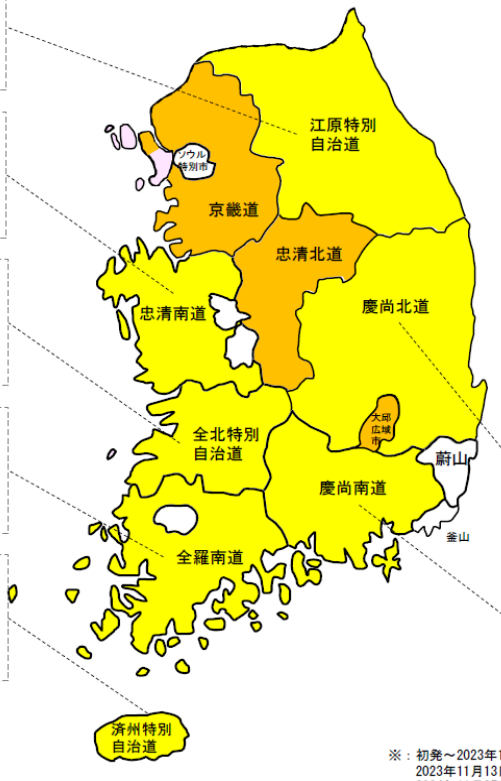
江原特別自治道
最新発生日：2026年９月15日
発生件数：１件
※　2026年における初発日：９月15日

忠清南道
最新発生日：2026年10月8日
発生件数：29件
※　2026年における初発日：８月７日

全北特別自治道
最新発生日：2026年10月７日
発生件数：20件
※　2026年における初発日：７月10日

全羅南道
最新発生日：2026年10月８日
発生件数：34件
※　2026年における初発日：７月30日

済州特別自治道
最新発生日：2026年９月12日
発生件数：６件
※　2026年における初発日：９月７日



農林水産省動物衛生課
出典：韓国当局公表資料等を基に作成

発生状況

	発生件数	殺処分対象頭数※
2023年	107件	6,455頭
2024年	24件	304頭
2025年	－	－
2026年	97件	－

：2026年に発生が確認された行政区画
：2024年が最終発生年（2025年以降、発生なし）
：2023年が最終発生年（2024年以降、発生なし）

慶尚北道
最新発生日：2026年10月12日
発生件数：４件
※　2026年における初発日：９月26日

慶尚南道
最新発生日：2026年10月10日
発生件数：３件
※　2026年における初発日：10月６日

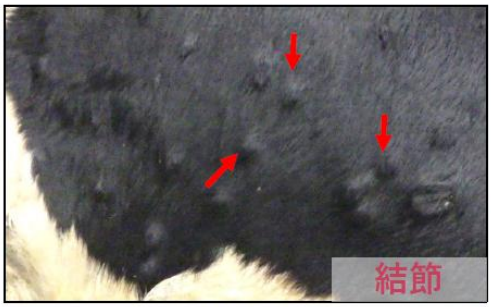
※：初発～2023年11月12日：発生農場単位で殺処分
2023年11月13日～2024年11月24日：感染牛のみ殺処分
2024年11月25日～：感染牛のみ隔離、一定期間を経て陰性が確認されれば、殺処分免除

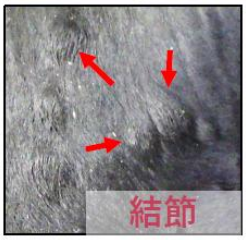
ランピースキン病を疑う症状

発熱、鼻汁
皮膚の結節
泌乳量の低下
リンパ節の腫大

疑わしい場合は
直ちに連絡！









家畜の異状を発見した場合には直ちに当所にご相談下さい

京都府南丹家畜保健衛生所
住所：南丹市八木町木原北東庄１８
☎：0771-42-3308
＊休日・夜間は転送されます